二次公募より申請受付決定　導入費の１／２を補助　ＩＴ導入支援事業

アナタコチャート紙自動解析ソフト

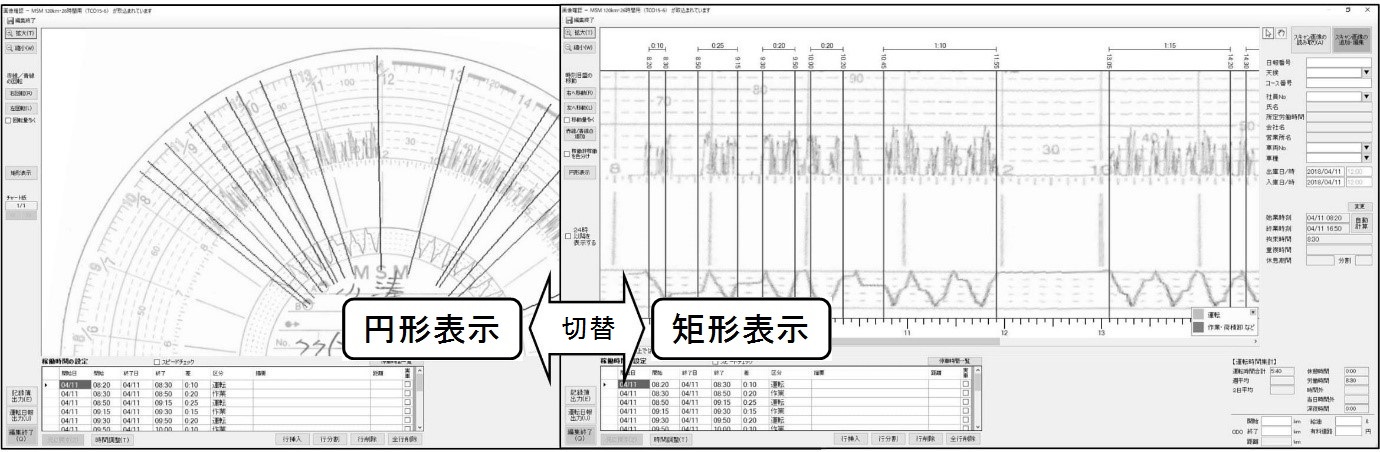
　ソフトウェア開発のワイズ公共データシステム株式会社（本社：長野市）は、同社が販売する『タコグラフチャート紙自動解析／運行管理システム』の導入費２分の１が補助される事業の二次公募の開始を発表した。

認定された同システムは、従来、目視・手作業で行われていたアナログタコグラフチャート紙の解析作業を自動化するもの。同社による実証実験では、チャート紙の解析から稼働状況集計表や運転日報作成までの一連の作業時間を、従来比４分の１まで削減できることを確認した。

自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）の適否判定機能も有しており、稼働状況を３ヶ月単位で集計し、改善基準告示適合を全日チェック。不適合箇所は着色表示され、適合・不適合の判断が一括で可能。

補助金は、平成３０年度補正予算措置に伴う、中小企業・小規模事業者等を対象とした「サービス等生産性向上ＩＴ導入支援事業」の認定によるもの。経産省・中小企業庁より、ＩＴツール（ソフトウェア・サービス等）の導入経費２分の１以下にあたる４０万円以上１５０万円未満の範囲で補助される。

申請期限は８月２３日１７時まで。審査で交付が決定される事業者に対し、その後導入したＩＴツールが補助対象に。なお、同社申請期限は８月９日。

申請方法の詳細については同社（ＴＥＬ：０２６-２３２-１１４５）西澤まで。